

# みずの輪

mizunowa

盛岡市の水道事業は、昭和9年12月に給水を開始して以降、皆さまとともに歩み続け、令和6年度に90周年を迎えました。これからも皆さまに安心安全な水道水を届けます。



放水試験（昭和9年11月23日）



水道事業90周年記念植樹(令和6年12月1日)



米内小学校の児童による合唱の様子(米内浄水場)

トピックス  
Topics

## 水道を凍結から守ろう!

気温が下がり、水道管が凍結すると、水道が使えなくなります。最低気温がマイナス4度を下回るとき、真冬が続くとき、帰省や旅行で家を空けるときは、水抜きをしましょう。

### ○水抜きの手順

- 1 蛇口を全開にして水を出す(蛇口は開けたままにしておく)
- 2 水抜き栓のハンドルをしっかり閉める  
(電動型の場合は水抜きボタンを押す)



分かりやすい凍結防止動画はこちら▶

URL [https://youtu.be/Z1WoHqW2A-M?si=Rn\\_nzyEMdLWgMcuN](https://youtu.be/Z1WoHqW2A-M?si=Rn_nzyEMdLWgMcuN)



## 町内会・自治会を対象に土のうステーションを設置します

大雨洪水などによる家屋への浸水被害を軽減するため、地域住民が自由に使える簡易土のう100袋程度を保管する場所として、町内会・自治会を対象に土のうステーションの設置を行っています。詳しくは、上下水道局ホームページをご覧ください。興味はか下水道整備課までお問い合わせください。

### 〈土のうステーションの設置例〉



URL [https://www.morioka-water.jp/various/saigai\\_hazard\\_map.html](https://www.morioka-water.jp/various/saigai_hazard_map.html)



担当 下水道整備課 ☎ 019-623-1421

トピックス  
Topics

## 第37回(令和6年度)下水道標語コンクール

盛岡市立小学校の4、5年生を対象に標語を募集し、133作品の応募がありました。入賞作品は次のとおりです。たくさんのご応募、ありがとうございました。



### 市長賞

- 「じゅんかんで 水のボタンを 未来へと」  
桜城小学校5年生 高橋 香子さん
- 「考えよう それは流して よい物か」  
桜城小学校5年生 鳥居 好太さん

### 教育長賞

- 「下水道 生活ささえる ろかそうち」  
月が丘小学校4年生 松浦 慧太さん
- 「僕達の 未来につながる 水じゅんかん」  
桜城小学校5年生 村上 悠祐さん

### 上下水道局長賞

- 「下水道 命の水に 変える道」  
桜城小学校5年生 金今 綾乃さん
- 「つなげよう きれいな水を 未来まで」  
中野小学校4年生 辻村 葵さん
- 「地中から 未来届ける 水の道」  
桜城小学校5年生 矢木 あや香さん
- 「お水たち エふうとどりよくで まわってる」  
中野小学校4年生 川村 城月さん
- 「地球は青 下水道なければ 地球くろ」  
桜城小学校5年生 伊藤 楓悟さん
- 「知られざる 下水のひみつ エコロジカル」  
中野小学校4年生 石戸谷 碧生さん

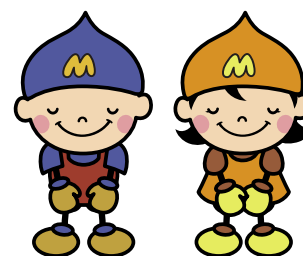
URL <https://www.morioka-water.jp/various/hyogo.html>



担当 給排水課 ☎ 019-623-1426

## 水道90周年

／ありがとう／



水道ぼうや・下水道あいちちゃんからのメッセージ

### アンケートに答えて応募しよう!

抽選で10名様に、ヘラルボニー契約作家のアートがあらわれた盛岡市水道90周年記念クリアファイルをプレゼント!

- 応募方法 はがきまたはホームページの感想入力フォームに住所、氏名、年齢、右のアンケートの回答をご記入の上ご応募ください。
  - 宛先 〒020-0013 盛岡市愛宕町6-8 盛岡市上下水道局経営企画課
  - 締切 2025年3月31日(当日消印有効)
- URL: <https://www.morioka-water.jp/inquiry/>



※ご記入いただいた個人情報は、上下水道局で適切に管理し、応募者との連絡など事業の運営のみに利用します。

### アンケート

Q1 水道・下水道について関心のあるテーマを教えてください。(自由記述)

( )

Q2 みずの輪のご感想

( )



# 盛岡の水道を未来へ

## 水道90周年記念 水道フォーラム

盛岡市水道事業90周年を記念して、令和6年11月17日に水道フォーラムを開催しました。戦場カメラマンやフォトジャーナリストとして活躍する渡部陽一氏、(株)ペアレン醸造所 代表取締役社長高田洋一氏をお招きし、記念講演やパネルディスカッションを行いました。



司会のきぬさん



自身が撮影した写真から戦争の実情と現地の子どもの声を届ける渡部陽一氏

**◆ 記念講演**  
戦場からのメッセージをあなたに  
『ファイナダー越しに見た命の現場』  
戦場カメラマンとして世界中の紛争地域を訪れ、戦争の犠牲者である子ども達を自分の目で見て、耳で聞き、向き合い、その声を届ける渡部陽一氏。破壊された学校で出会った十四歳の少女のメッセージ、小さな命が奪われる残酷な戦場での医療の現状についてご講演をいただきました。

### ◆ パネルディスカッション 「当たり前を未来へ」

戦場カメラマンの渡部陽一氏、世界一のビールを醸造する高田洋一氏、長澤上下水道事業管理者をパネリストとして、ディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子。左から司会のきぬさん、渡部陽一氏、高田洋一氏、長澤上下水道事業管理者。

**● 水へのアクセス**  
渡部氏 世界中で、水をめぐる戦争が起きています。水を飲むことができるのは、当たり前ではありませぬ。紛争地にいると「湯船につかりたい」と強く思うのです。日本は、安心して風呂に入り、洗濯ができ、食器が洗える「奇跡の国」です。

**長澤氏** 能登半島地震の現場を見て、水道施設の被害の大きさに驚き、改めて水道施設の耐震化の加速や地元管

工事業者の必要性を痛感しました。  
● 良質なビールは良質な水道水から  
高田氏 ビールを造るためには、造るビールの量の3倍の水を使います。水に恵まれた環境でビールを造り、世界一の称号をいただきます。盛岡の水道が世界一に貢献したと言っていると思います。



ビール造りと水の関係について語る高田洋一氏

**● 私たちこそがNo.1**  
高田氏 節水の意識を持ち、有効な水の使い方を心掛ける等、ささやかでも自分ができる取組を考えていくことが大切だと思います。

**● やすい**  
高田氏 私は、盛岡の水道水でビールを造っています。水道水そのものは観光資源にはなりにくいですが、ビールという形に変えて、盛岡の水道水を世界中に届けていきたいと思っています。  
渡部氏 東日本大震災の時、沿岸の約400kmにわたる被災状況を見て、体が動かなくなりました。それから十数年間、若手県を訪れて感じるのは、「自然の美しさ」と「水」です。水の都、盛岡。水に満たされているのが、若手県だといつも強く感じます。水の岩手に魅せられています。

### 記念植樹

水道事業開始から90周年を迎えた令和6年12月1日に、市水道の発祥の地である米内浄水場で記念植樹を行いました。米内地区の皆さまをはじめ、米内小学校の児童や職員ら約80人が参加しました。オープニングを飾ったのは、米内小学校5・6年生の合唱。参加者を癒す素敵な歌声でした。

内館市長をはじめ、上米内地区活動推進協議会長の井上行男さん、上米内



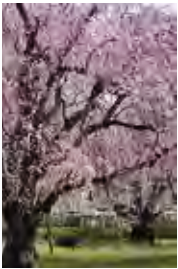
**フォトコンテスト**  
盛岡市水道事業90周年を記念して桜の一般公開期間中に行った米内浄水場さくらフォトコンテスト。合計271作品の応募がありました。多くのご応募の中から審査を行った結果、入賞作品が決定しました。



最優秀賞(上下水道局長賞)「花風」佐藤 良昭さん



優秀賞(上米内親交会会長賞)「米内の桜シャワー」及川 隆さん



優秀賞(米内浄水場長賞)「降りそそぐ桜花」後藤 靖行さん

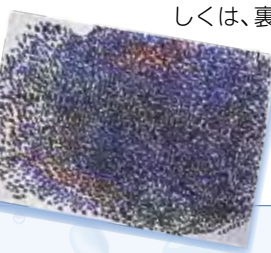
他の入賞作品はこちらからご覧ください



[https://www.morioka-water.jp/various/yonai\\_sakura.html](https://www.morioka-water.jp/various/yonai_sakura.html)

## 「水道」× 福祉・アートプロジェクト

「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、盛岡市に本社を置く「ハラルボニー」と水道が共創の取組を実施します。ハラルボニーデザイン給水栓の完成に乞うご期待！今号のアンケート企画では、クリアファイルをプレゼント。詳しくは、裏面をご覧ください。



その他にも水道90周年記念の様々なイベントを開催しました！イベントの様子は上下水道局ホームページを見てね！



[https://www.morioka-water.jp/various/water\\_90th\\_anniv.html](https://www.morioka-water.jp/various/water_90th_anniv.html)



### 未来へ



### 拡張期

これまで、人口や市民生活の変化に合わせて水道事業は大きく変化してきました。昭和25年の第1次拡張事業以後、7次にわたる拡張事業を実施し、令和5年度末の水道普及率は98.3%に達しました。



### 創設期

年号が昭和に変わり、東北地方の県庁所在地で水道がないのは盛岡市のみとなり、市政発展の要ともいえる水道事業は、待たなしの状況でした。悲願の水道創設工事は昭和8年5月に始まり、ほとんどが人力で命がけの工事は困難を極め、難工事の末に昭和9年12月1日に水が供給されました。待ちにまった通水。蛇口から出るきれいな水に市民は歓声をあげて喜びました。



ゴクゴク飲める水道水を次世代へ

もりおかの水道史は上下水道局ホームページをご覧ください。  
<https://www.morioka-water.jp/various/suidoshi.html>



### 水道往古來今